

令和5年度 西都児湯森林管理署 公共工事契約状況

令和5年6月2日

分任支出負担行為担当官
西都児湯森林管理署長 富永 雄二

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工事概要	入札方式
令和5年度陰谷林道災害復旧工事		宮崎県児湯郡木城町石河内地内		林道工事	災害復旧工事 延長 26.0m 幅員 3.6m	一般競争入札 (総合評価落札方式)
予定価格 (税抜き)	調査基準価格 (税抜き)	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
18,035,000円	16,189,520円	令和5年6月2日		宮崎県児湯郡木城町大字椎木4752-1 株式会社 桑原建設		
契約金額 (税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期				
17,600,000円	令和5年6月	令和6年1月				

○予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第73条の規定に基づく競争参加資格

別添「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由

別紙「競争参加資格確認結果書」（別添1）のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

別紙「入札執行調書」（別添2）のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

別紙「工事積算内訳書」（別添3）のとおり

入札公告（森林土木工事）（総合評価落札方式）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和5年4月28日

分任支出負担行為担当官
西都児湯森林管理署長 富永 雄二

1 工事概要

(1) 工事名 令和5年度陰谷林道災害復旧工事

(2) 工事場所 宮崎県児湯郡木城町石河内地内（水源かん養保安林）

(3) 工事内容

擁壁工Ⅰ アンカー式ブロック積工 105.30m² 笠コンクリート 22.50m 天端コンクリート 21.90m
基礎コンクリート 20.00m³ 小口止コンクリート 2.40m³ 間詰コンクリート 0.10m³
床堀 317.00m³ 基面整正 14.00m² 基礎砕石工 14.00m²
埋戻工Ⅱ 123.00m³ キャットウォーク 21.90m

擁壁工Ⅱ コンクリート打設・養生 22.10m³ 型枠工 41.30m² 手すり先行型枠組足場
工 16.20掛 m² 単管傾斜足場工 17.80掛 m² 床堀 42.00m³
基面整正 14.50m² 基礎砕石工 14.50m² 0m³ 埋戻工Ⅱ 19.00m³

土工 礫質土切土工 101.00m³ 運搬残土 68.00m³ 残土処理 251.00m³
砂利路盤工 119.50m² 盛土法面整形 17.30m²
張コンクリート（盛土） 17.30m² ふとんかご工 4.00m

溝渠工 鉄筋コンクリート横断溝 300型 6.30m 横断溝保護工 43.80m²
合成樹脂管 13.00m 張コンクリート（呑口） 8.20m²
溝渠保護柵 1.00箇所

その他工 鉄筋コンクリート横断溝 300型撤去 4.70m コルゲートフリューム撤去 11.00m³
コンクリート構造物取り壊し工 1.40m³

(4) 工期 契約締結日の翌日から令和6年1月25日まで
（工期は、「4週8休」を標準として設定）

令和5年7月25日（工事着手期限）までに工事を開始すること。

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期

間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手した場合においても、工期の終期の変更は行わない。

- (5) 本工事は、総合評価落札方式（簡易型）における提出資料の簡素化（技術提案の施工計画の省略）や技術審査・評価の効率化を図り、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する工事である。
- (6) 本工事は、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の工事である。
- (7) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (9) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (10) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。
契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。
- (11) 本工事は、令和5年3月1日以降の労務単価を適用した工事である。
詳しくは九州森林管理局ホームページ
https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327
を参照すること。
- (12) 本工事は、令和3年度積算基準に基づくものであるが、令和5年3月29日に「令和5年4月から適用する森林整備保全事業設計積算要領等に係る取扱いについて」（令

和5年3月29日付け4林整計第868号林野庁森林整備部計画課長通知)が通知されたことを踏まえ、工事の発注者又は受注者は、国有林野事業工事請負契約約款第63条の規定に基づき、次の方式により算出された請負代金額等に変更する協議を行うことができるものとする。

変更後の請負代金額等 = $P_{\text{新}} \times k$

この式において、「 $P_{\text{新}}$ 」及び「 k 」は、それぞれ以下を表すものとする。

$P_{\text{新}}$ ：新積算基準により積算された予定価格に相当する額（単価は入札書の受付開始の日のもの）

k ：当初契約の落札率

2 競争参加資格

- (1) 「予算決算及び会計令」（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第70条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 九州森林管理局における土木一式工事に係るB、C又はD等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。ただし、D等級においては資格点数が1,000点以上の格付者であること（「会社更生法」（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。
- (3) 「会社更生法」に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 平成20年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。
なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）第4の3に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。
経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
 - ② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
 - ③ 林道規定に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
- のうち、いずれかの工事

(5) 「建設業法」(昭和24年法律第100号)に基づく「主任技術者又は監理技術者」(以下「主任(監理)技術者」という。)の配置については、次に掲げる基準を満たす主任(監理)技術者を配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

- ① 技術士(建設部門又は森林部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る。))、2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士又は林業技士(森林土木部門に限る。)以上の資格を有する者であること。
- ② 平成20年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期(余裕期間は除く)のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が65点未満のものを除く。

ア 主任(監理)技術者

イ 主任(監理)技術者の下で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか2以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
 - ② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
 - ③ 林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
- のうち、いずれかの工事

- ③ 監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

ただし、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者等を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2現場を限度として兼務できることとする。

なお、主任技術者の専任に係る取り扱いについては、工作物に一体性若しくは連続性のある工事又は施工にあたり相互に調整を必要とする工事で、かつ、工事の施工管理区域間隔が10km程度又は移動時間60分程度の接近した場所において、同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第27条第2項が適用できるものとする。

この場合において、主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事について、原則3件程度とする。（監理技術者には適用しない）

- (6) 競争参加資格確認申請書、競争参加資格確認資料及び総合評価資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知。以下「工事請負契約指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去2年間（令和3年4月1日から令和5年3月31日まで）に完成した工事で工事成績評定を受けた工事がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。
- (10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。
また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。
- (11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にするにはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記 2 に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和 5 年 5 月 1 日から令和 5 年 5 月 17 日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9 時から 17 時までとする。
- ② 提出先：〒881-0033 宮崎県西都市妻 909-5
西都児湯森林管理署 総務グループ
電話 0983-43-1377
- ③ その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又は F A X によるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書等は入札説明書により作成すること。

(4) 上記 (2) に規定する期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去 2 年間（令和 3 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）に完成した工事で森林管理局长等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の 2 回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「〇〇森林管理（局、（支）署）令和〇〇年〇〇月〇〇日入札の〇〇工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は次の方法により落札者を決定する方式

とする。

- ① 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点 100 点を付与する。
- ② 上記 3 (1) の総合評価資料により示された実績等により最大 30 点の加算点及び最大 30 点の施工体制評価点を付与する。
- ③ 付与された標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。）を用いて落札者を決定する。
その評価項目等の概要は、次に示すとおりとするが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

(2) 評価項目

評価項目は、次に示すとおりである。

- ① 施工能力等に関する事項
- ② 信頼性・社会性に関する事項
- ③ 施工体制（品質確保の実効性、施工体制確保の確実性）に関する事項

なお、①及び②の項目で最大 30 点の加算点、③の項目で最大 30 点の施工体制評価点とする。

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除して得られる評価値（ $\text{評価値} = \{ (\text{標準点} + \text{加算点} + \text{施工体制評価点}) / (\text{入札価格}) \}$ ）を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。ただし、予定価格が 1 千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100 点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

5 入札手続等

(1) 担当部局

〒881-0033 宮崎県西都市妻 909-5
西都児湯森林管理署 総務グループ
電話 0983-43-1377

(2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間にお

いて電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和5年4月28日から令和5年5月30日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒881-0033 宮崎県西都市妻909-5
西都児湯森林管理署 総務グループ
電話 0983-43-1377
- ③ 図書類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和5年5月31日10時00分。
- ② 紙入札方式により入札の締切りは、令和5年5月31日10時00分とし、西都児湯森林管理署 入札室において入札。
- ③ 開札は、令和5年5月31日10時05分に、西都児湯森林管理署 入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

- ① 入札保証金 免除
- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行宮崎代理店）。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 西都児湯森林管理署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。
また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに

に工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

この場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第1第1項の規定に基づく指名停止又は第10の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

(5) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

(6) 低入札価格調査を受けた者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に2の(5)に定める要件と同一の要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置することとする。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

(8) 関連情報を入手するための照会窓口

上記5(1)に同じ。

(9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書等を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。

(10) 申請書等の内容のヒアリング

原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(11) 施工体制確認のためのヒアリング

施工体制確認のためのヒアリングを実施するとともに、その際、追加資料の提出を求めることがある。

(12) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成16年7月 林野庁）による。

(13) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードされたい。

詳しくは当森林管理局のホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html

を確認すること。

なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。

(14) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

を確認すること。

(15) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

(別紙1)

競争契約参加資格確認結果書

- 1 工 事 名：令和5年度陰谷林道災害復旧工事
- 2 発注機関名：西都児湯森林管理署
- 3 入札公告日：令和5年4月28日
- 4 競争参加資格確認結果通知日：令和5年5月18日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
第一建設 株式会社	有	
株式会社 桑原建設	有	
株式会社 七組	有	

- (備考) 1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載する。
- 2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

入札執行調書

西都児湯森林管理署

案件番号	1	入札年月日	令和5年5月31日	案件名称	令和5年度陰谷林道災害復旧工事									
入札者の商号又は名称	技術評価点							第1回入札			第2回入札			結果
	総計	標準点	技術提案加算点				施工体制 評価点	金額(円)	評価値	順位	金額(円)	評価値	順位	
			施 計	工 画	企 業 評 価	技 術 者 評 価								
第一建設 株式会社	152	100	—	9	4	9	30	18,500,000	82.1622	2				
株式会社 桑原建設	154	100	—	10	5	9	30	17,600,000	87.5000	1				落札
株式会社 七組	150	100	—	8	5	7	30	18,654,000	80.4117	3				

(注)上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。

※ 評価値は「(標準点+加算点)÷入札価格(千万円単位)」により算出している。

開札結果は上記の金額のとおり相違ありません。

入札執行官 農林水産技官 富永 雄二 ✓

立会職員 農林水産技官 福田 貴史 ✓

確認職員 農林水産技官 和田 治仁 ✓

明 細 表

1	擁壁工 I	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
	アンカー式ブロック擁壁	西都児湯森林管理署	本署	宮崎	64	高鍋31	545
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施 工 々 種]		13.00	工種	0	0	
7006	アンカー式ブロック積工	1200型	105.30	m2	37,312	3,928,953	
7010	笠コンクリート	小型構造物 人力	22.50	m	19,179	431,527	
7011	天端コンクリート	小型構造物 人力	21.90	m	6,075	133,042	
7012	基礎コンクリート	小型構造物バックホウ(クレーン機能付き)打設	20.00	m	5,863	117,260	
7013	小口止コンクリート	無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設	2.40	m3	102,118	245,083	
7014	間詰コンクリート	小型構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設	0.10	m3	94,440	9,444	
7005	吸出し防止材設置		42.00	m2	770	32,340	
6001	床堀(砂・砂質土、粘性土、礫質土)	0.45BH 障害無	317.00	m3	407	129,019	
7015	基面整正		14.00	m2	364	5,096	
7016	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH 10cm	14.00	m2	1,359	19,026	
7017	埋戻工D 100m	1m未満 改良災害用	123.00	m3	4,565	561,495	
5227	キャットウォーク		21.90	m	2,578	56,458	
6212	伸縮目地取付	厚10mm	0.30	m2	2,725	817	
頁 計						5,669,560	
計						[5669560]	
割出単価						5,669,000	
(備考) 金額計の内 労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)						436,076	
金額計の内 労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)						1,321,990	
金額計の内 形成材料						197,992	
金額計の内 機械賃料 週休2日補正係数(1.04)						3,800,552	
						92,214	

明 細 表

2	擁壁工 II	点在箇所A					
コードNo	(構造) コンクリート擁壁 GW-1.2-I	(森林管理署名) 西都児湯森林管理署	(事務所名) 本署	メインブロック 宮崎 64		サブブロック 高鍋31 545	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施工々種]		8.00	工種	0	0	
7018	コンクリート打設・養生	無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設	22.10	m3	40,420	893,282	
7019	型枠工	無筋・鉄筋構造物	41.30	m2	8,181	337,875	
5220	手すり先行型枠組足場工		16.20	掛m2	3,985	64,557	
5222	単管傾斜足場工		17.80	掛m2	3,137	55,838	
6001	床堀(砂・砂質土、粘性土、礫質土)	0.45BH 障害無	42.00	m3	407	17,094	
7015	基面整正		14.50	m2	364	5,278	
7016	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH 10cm	14.50	m2	1,359	19,705	
7017	埋戻工D 100m	1m未満 改良災害用	19.00	m3	4,565	86,735	
頁 計						1,480,364	
計						[1480364]	1,480,000
割出単価						185,000	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				652,656	
	金額計の内	労務費(運転手・助手) 労務補正率(0%) 週休2日補正係数(1.05)				72,188	
	金額計の内	形成材料				636,818	
	金額計の内	機械賃料 週休2日補正係数(1.04)				55,767	

明 細 表

3	土工	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		西都児湯森林管理署	本署	宮崎	64	高鍋31	545
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施 工 々 種]		7.00	工種	0	0	
7020	礫質土切土	0.45BH	101.00	m3	788	79,588	
7021	運搬盛土 360m	改良災害用	68.00	m3	2,434	165,512	
7022	残土処理 360m	改良災害用	251.00	m3	1,206	302,706	
7023	砂利路盤工(機械)(敷均し)	BH山積0.28m3[0.2m3] 舗装面仕上げ有り	119.50	m2	944	112,808	
7026	盛土法面整形 礫質土	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3] 削取り整形	17.30	m2	373	6,452	
7024	張コンクリート(盛土)	厚5cm	17.30	m2	3,012	52,107	
7025	ふとんかご	高さ50cm×幅120cm	4.00	m	12,720	50,880	
頁 計						770,053	
計						770,000	
割出単価						110,000	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		104,074	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		251,527	
	金額計の内	形成材料				124,939	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			4,014	

明 細 表

4	溝渠工	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		西都児湯森林管理署	本署	宮崎	64	高鍋31	545
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施 工 々 種]		5.00	工種	0	0	
7027	鉄筋コンクリート横断溝 300型	横断溝保護工と組合せ	6.30	m	52,783	332,532	
7028	横断溝保護工	厚0.15m	43.80	m2	9,267	405,894	
7031	合成樹脂管	内径700	13.00	m	30,123	391,599	
7032	張コンクリート(呑口)	厚10cm 基床材10cm	8.20	m2	3,739	30,659	
7033	溝渠保護柵(鋼製)	H=1.2m 2.1×1.5×1.5	1.00	箇所	189,908	189,908	
頁 計						1,350,592	
計						[1350592]	
割出単価						270,000	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		167,023	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		10,312	
	金額計の内	形成材料				1,115,663	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			10,404	

明 細 表

5	その他工種	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		西都児湯森林管理署	本署	宮崎	64	高鍋31	545
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施 工 々 種]		4.00	工種	0	0	
7034	鉄筋コンクリート横断溝300型 撤去		4.70	m	1,651	7,759	
7035	コルゲートフリューム 撤去	400×400	11.00	m	1,274	14,014	
7036	産廃運搬費 18500m	ダンプトラック10t車	1.90	m3	4,731	8,988	
7039	コンクリート構造物取り壊し工	無筋構造物	1.40	m3	27,632	38,684	
頁 計						69,445	
計						69,000	
割出単価						17,250	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		52,873	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		6,191	
	金額計の内	形成材料				495	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			3,297	

明 細 表

6	間接工事費 共通仮設費	支給品費・無償貸付機械評価額	0	処分費等・飛行経費	0	額附・門扉工場帯付・別途製作する構造物	0
(構造)	T 直接工事費(+)	9,338,000	o 適用諸経费率			8 道路工事	
	A 積上仮設費等(+)	6,000	a 原定率共通仮設费率(%)			12.25	
	S 対象額算定組込経費(+)	0	b 施工地域補正係数			1.3	
	H 対象額算定除外経費(-)	0	c 週休2日補正係数			1.04	
	P 定率仮設費算定対象額	9,344,000	d 採用仮設费率 a * b * c			16.57	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7037	産廃処理費	コンクリート殻 有筋	0.50	m3	3,600	1,800	
7038	産廃処理費	コンクリート殻 無筋	1.40	m3	3,300	4,620	
	小計 (A積み上げ仮設費)	6420				6,000	
	定率現場環境改善費	(T + S) * 1.58 %	1.00	式		147,000	
	小計	147000				147,000	
	定率共通仮設費	P * 16.57 %	1.00	式		1,548,000	
	計					1,701,000	
(備考)	(参考)金額計の内労務費の金額				0 %割増	0	

明 細 表

7	間接工事費 現場管理費																																																																																																																																										
(構造)		(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																					
		西都児湯森林管理署	本署	64	545	宮崎																																																																																																																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																					
	現 場 管 理 費		1.0	式	-	3,834,000																																																																																																																																					
	計					3,834,000																																																																																																																																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">A 直接工事費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">9,338,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>B 純工事費</td> <td style="text-align: center;">(支給品費等含まない)</td> <td style="text-align: right;">11,039,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C 産業廃棄物処分費等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>D 現場管理費算定対象額</td> <td style="text-align: center;">(B - C)</td> <td style="text-align: right;">11,039,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>E 現場管理費率</td> <td style="text-align: center;">(Dで算定)</td> <td style="text-align: right;">32.77 %</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">8 道路工事</td> </tr> <tr> <td>F 施工時期補正 設定工期</td> <td style="text-align: center;">(標準工期)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">日 (</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">166 日)</td> </tr> <tr> <td>G 冬期期間内工期</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">日</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>H 級地区分補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>I 冬期率(I年度内工期率)</td> <td style="text-align: center;">(G/F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>J 冬期補正率</td> <td style="text-align: center;">(H * I / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>K 真夏日</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0 日</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>L 真夏日率</td> <td style="text-align: center;">(K/F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>M 熱中症対策補正率</td> <td style="text-align: center;">(L * 1.2 / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00 %</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>N 施工地域補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.00</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>O 週休2日補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.06</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>P 補正現場管理費率</td> <td style="text-align: center;">(E * N + (J + M)) * O</td> <td style="text-align: right;">34.74 %</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">(J + Mの最大は2.0%)</td> </tr> <tr> <td>Q 算定現場管理費</td> <td style="text-align: center;">(D * P / 100)</td> <td style="text-align: right;">3,834,948 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>R 端数切捨額</td> <td style="text-align: center;">(千円止)</td> <td style="text-align: right;">-948 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>S 現場管理費</td> <td style="text-align: center;">(Q + R)</td> <td style="text-align: right;">3,834,000 円</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>							A 直接工事費		9,338,000 円					B 純工事費	(支給品費等含まない)	11,039,000 円					C 産業廃棄物処分費等		0 円					D 現場管理費算定対象額	(B - C)	11,039,000 円					E 現場管理費率	(Dで算定)	32.77 %	8 道路工事				F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)		日 (166 日)			G 冬期期間内工期			日				H 級地区分補正係数		0.00					I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %					J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %					K 真夏日		0 日					L 真夏日率	(K/F * 100)	0 %					M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %					N 施工地域補正係数		1.00					O 週休2日補正係数		1.06					P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * O	34.74 %	(J + Mの最大は2.0%)				Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	3,834,948 円					R 端数切捨額	(千円止)	-948 円					S 現場管理費	(Q + R)	3,834,000 円				
A 直接工事費		9,338,000 円																																																																																																																																									
B 純工事費	(支給品費等含まない)	11,039,000 円																																																																																																																																									
C 産業廃棄物処分費等		0 円																																																																																																																																									
D 現場管理費算定対象額	(B - C)	11,039,000 円																																																																																																																																									
E 現場管理費率	(Dで算定)	32.77 %	8 道路工事																																																																																																																																								
F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)		日 (166 日)																																																																																																																																							
G 冬期期間内工期			日																																																																																																																																								
H 級地区分補正係数		0.00																																																																																																																																									
I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0 %																																																																																																																																									
J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
K 真夏日		0 日																																																																																																																																									
L 真夏日率	(K/F * 100)	0 %																																																																																																																																									
M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00 %																																																																																																																																									
N 施工地域補正係数		1.00																																																																																																																																									
O 週休2日補正係数		1.06																																																																																																																																									
P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * O	34.74 %	(J + Mの最大は2.0%)																																																																																																																																								
Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	3,834,948 円																																																																																																																																									
R 端数切捨額	(千円止)	-948 円																																																																																																																																									
S 現場管理費	(Q + R)	3,834,000 円																																																																																																																																									
備考																																																																																																																																											

明 細 表

8	一 般 管 理 費 等																																																											
(構造) 計算内容は下記参照		(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																						
		西都児湯森林管理署	本署	64	545	宮崎																																																						
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																						
	一 般 管 理 費 等		1.0	式	-	3,162,000																																																						
	計					3,162,000																																																						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">○ 工事原価</td> <td style="width: 35%;">点在箇所A</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">14,873,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>A 一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">14,873,000 円</td> </tr> <tr> <td>B 一般管理費等率 (Aで算定)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">21.22 %</td> </tr> <tr> <td>C 補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.00</td> </tr> <tr> <td>D 補正一般管理費等率 (B * C)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">21.22 %</td> </tr> <tr> <td>E 率部一般管理費等額 (A * D / 100)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,156,051 円</td> </tr> <tr> <td>F 契約保証補正值</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.04 %</td> </tr> <tr> <td>G 契約保証補正額 (A * F / 100)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">5,949 円</td> </tr> <tr> <td>H 算定一般管理費等 (E + G)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,162,000 円</td> </tr> <tr> <td>I 採用一般管理費等 (千円止)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,162,000 円</td> </tr> </table>							○ 工事原価	点在箇所A	14,873,000 円			円			円			円			円			円			円			円			円	A 一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)		14,873,000 円	B 一般管理費等率 (Aで算定)		21.22 %	C 補正係数		1.00	D 補正一般管理費等率 (B * C)		21.22 %	E 率部一般管理費等額 (A * D / 100)		3,156,051 円	F 契約保証補正值		0.04 %	G 契約保証補正額 (A * F / 100)		5,949 円	H 算定一般管理費等 (E + G)		3,162,000 円	I 採用一般管理費等 (千円止)		3,162,000 円
○ 工事原価	点在箇所A	14,873,000 円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
		円																																																										
A 一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)		14,873,000 円																																																										
B 一般管理費等率 (Aで算定)		21.22 %																																																										
C 補正係数		1.00																																																										
D 補正一般管理費等率 (B * C)		21.22 %																																																										
E 率部一般管理費等額 (A * D / 100)		3,156,051 円																																																										
F 契約保証補正值		0.04 %																																																										
G 契約保証補正額 (A * F / 100)		5,949 円																																																										
H 算定一般管理費等 (E + G)		3,162,000 円																																																										
I 採用一般管理費等 (千円止)		3,162,000 円																																																										
備考 係数は四捨五入 金額は切捨																																																												

割 増 単 価 表

7004 土砂安定シート設置			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.02	人	18,270	365	
2958	土砂安定シート		10.00	枚	480	4,800	
	計	週休:4週8休以上				5,165	
		単 価		1.0 枚当り		517	
		単価の内労務費の金額				37	
		単価の内形成材料の金額				480	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7005 吸出し防止材設置			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.06	人	18,270	1,096	
2816	背面不織布 S-10G	t=10	11.20	m2	590	6,608	割増率12%
計							
		週休:4週8休以上				7,704	
		単 価			1.0 m2当り	770	
		単価の内労務費の金額				110	
		単価の内形成材料の金額				661	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7007		コンクリート打設・養生			西都児湯森林管理署 本署			
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位		
	小型構造物 人力打設	宮崎	64	高鍋31	545	1 m3		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
8001	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	41,070	41,070		
計		週休:4週8休以上				41,070		
		単 価			1.0 m3当り	41,070		
		単価の内労務費の金額				11,531		
		単価の内形成材料の金額				29,529		
[摘要]								

割 増 単 価 表

7008 コンクリート打設・養生		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設 アンカー基礎	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8002	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	42,950	42,950	
	計	週休:4週8休以上				42,950	
		単 価			1.0 m3当り	42,950	
		単価の内労務費の金額				11,122	
		単価の内形成材料の金額				30,263	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7009 型枠工		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型構造物	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8003	型枠	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	7,355	7,355	
	計	週休:4週8休以上				7,355	
		単 価		1.0 m2当り		7,355	
		単価の内労務費の金額				7,354	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7010 笠コンクリート		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型構造物 人力	メインブロック		サブブロック		作成単位 10 m	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7007	コンクリート打設・養生	小型構造物 人力打設	2.70	m3	41,070	110,889	
7009	型枠工	小型構造物	11.00	m2	7,355	80,905	
	計	週休: 4週8休以上				191,794	
		単 価			1.0 m当り	19,179	
		単価の内労務費の金額				11,203	
		単価の内形成材料の金額				7,973	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7011 天端コンクリート		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 小型構造物 人力	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7007	コンクリート打設・養生	小型構造物 人力打設	1.30	m3	41,070	53,391	
7009	型枠工	小型構造物	1.00	m2	7,355	7,355	
計			週休:4週8休以上			60,746	
			単 価	1.0 m当り		6,075	
			単価の内労務費の金額			2,234	
			単価の内形成材料の金額			3,839	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7012 基礎コンクリート			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 小型構造物バックホウ(クレーン機能付き)打設	メインブロック		サブブロック		作成単位 10 m	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7008	コンクリート打設・養生	小型構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設 アンカ=基礎	0.80	m3	42,950	34,360	
7009	型枠工	小型構造物	3.30	m2	7,355	24,272	
計		週休:4週8休以上			58,632		
		単 価	1.0 m当り		5,863		
		単価の内労務費の金額			3,317		
		単価の内形成材料の金額			2,421		
[摘要]							

割 増 単 価 表

7013 小口止コンクリート		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設	宮崎	64	高鍋31	545	2.4 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7018	コンクリート打設・養生	無筋・鉄筋構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設	2.40	m3	40,420	97,008	
7019	型枠工	無筋・鉄筋構造物	18.10	m2	8,181	148,076	
計		週休:4週8休以上				245,084	
		単 価			1.0 m3当り	102,118	
		単価の内労務費の金額				72,086	
		単価の内形成材料の金額				28,461	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7014 間詰コンクリート			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	小型構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設	宮崎	64	高鍋31	545	0.1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7008	コンクリート打設・養生	小型構造物 バックホウ(クレーン機能付き)打設 アンカ基礎	0.10	m3	42,950	4,295	
7009	型枠工	小型構造物	0.70	m2	7,355	5,149	
計		週休:4週8休以上				9,444	
		単 価			1.0 m3当り	94,440	
		単価の内労務費の金額				62,600	
		単価の内形成材料の金額				30,260	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7015 基面整正		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8005	基面整正	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	364	364	
計		週休:4週8休以上				364	
		単 価			1.0 m2当り	364	
		単価の内労務費の金額				364	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7018		コンクリート打設・養生			西都児湯森林管理署 本署		
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
	無筋・鉄筋構造物	バックホウ(クレーン機能付き)打設	宮崎	64	高鍋31	545	1 m3
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8006	コンクリート	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m3	40,420	40,420	
計		週休:4週8休以上				40,420	
		単 価			1.0 m3当り	40,420	
		単価の内労務費の金額				10,395	
		単価の内形成材料の金額				28,461	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7019 型枠工		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 無筋・鉄筋構造物	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8004	型枠	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	8,181	8,181	
計		週休:4週8休以上				8,181	
		単 価			1.0 m2当り	8,181	
		単価の内労務費の金額				8,180	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7020 礫質土切土		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共1-3 3 (2)	0.45BH	宮崎	64	高鍋31	545	10 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4219	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] 片切掘削	0.09	日	52,996	4,770	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.17	人	18,270	3,106	
計		週休: 4週8休以上				7,876	
		単 価			1.0 m3当り	788	
		単価の内労務費の金額				539	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7023 砂利路盤工(機械)(敷均し)		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
林1-2 4 (1)	BH山積0.28m3[0.2m3] 舗装面仕上げ有り	宮崎	64	高鍋31	545	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.35	人	27,405	9,592	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.69	人	18,270	12,606	
4015	バックホウ運転経費	第2次基準値 山積0.28m3[0.20m3]割増 0%	1.90	時間	7,037	13,370	
4184	振動ローラ運転経費	搭乗式コンバインド型 排出ガス対策型 3~4t 機械路盤工	0.20	日	32,976	6,595	
3705	クラッシャーラン(再生)	40mm以下	11.60	m3	4,500	52,200	割増率16%
計		週休:4週8休以上				94,363	
		単 価			1.0 m2当り	944	
		単価の内労務費の金額				350	
		単価の内形成材料の金額				522	
[摘要] 敷砂利仕上げり厚 5-20cm適用							

割 増 単 価 表

7025 ふとんかご			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 高さ50cm×幅120cm		メインブロック		サブブロック		作成単位
	宮崎	64	高鍋31	545	1 m		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8007	ふとんかご	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	12,720	12,720	
計			週休: 4週8休以上			12,720	
単 価			1.0 m当り			12,720	
単価の内労務費の金額						3,885	
単価の内形成材料の金額						8,067	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7026 盛土法面整形 礫質土			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
共1-10-2	排出ガス対策型 BH山積0.45m3 [0.35m3] 削取り整形	宮崎	64	高鍋31	545	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.10	人	27,405	2,741	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.50	人	18,270	9,135	
4020	バックホウ運転経費	山積 0.45m3 [0.35m3] (0%)	3.10	時間	8,192	25,395	
計						週休:4週8休以上	37,271
単 価						1.0 m2当り	373
単価の内労務費の金額							245
単価の内形成材料の金額							0
[摘要]							

割増単価表

7028 横断溝保護工			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)		メインブロック		サブブロック		作成単位
局林1-1-9	厚0.15m		宮崎	64	高鍋31	545	9 m2
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.02	人	27,405	548	
* 1	特殊作業員	令和5年3月労賃	0.21	人	24,675	5,182	
* 2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.32	人	18,270	5,846	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	5.00	%	11,576	579	
1008	路 盤 紙	クラフト紙系	10.08	m2	27	272	割増率12%
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.03	人	18,270	548	
328	丸鉄線溶接金網	6 150 × 150mm	8.93	m2	433	3,867	割増率10%
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.18	人	18,270	3,289	
6001	床堀(砂・砂質土、粘性土、礫質土)	0.45BH 障害無	3.58	m3	407	1,457	
6125	基礎砕石工	20cm以下 0.80BH	10.24	m2	821	8,407	
3705	クラッシャーラン(再生)	40mm以下	2.46	m3	4,500	11,070	割増率20%
3702	生コンクリート	18-8-40BB 小型車割増	1.40	m3	28,700	40,180	割増率4%
524	目地材(瀝青質板)	厚10mm	1.26	m2	1,715	2,161	
計		週休:4週8休以上				83,406	
				単 価	1.0 m2当り	9,267	
				単価の内労務費の金額		2,609	
				単価の内形成材料の金額		6,394	
[摘要] 生コン割増率4%							

割 増 単 価 表

7029 合成樹脂管据付			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)		メインブロック		サブブロック		作成単位
局林1-1-13	内径700		宮崎	64	高鍋31	545	10 m
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.05	人	27,405	1,370	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.20	人	18,270	3,654	
* 2947	合成樹脂管	内径700	10.00	m	23,500	235,000	
1004	継手材料費	対象金額に対する割合	12.00	%	235,000	28,200	
3011	トラッククレーン賃料	4.9 t 吊 (ラチェスジブ型・油圧伸縮ジブ型)	0.03	日	37,440	1,123	
計		週休: 4週8休以上				269,347	
		単 価	1.0 m当り			26,935	
		単価の内労務費の金額				502	
		単価の内形成材料の金額				23,500	
[摘要] 合成樹脂管(内径700)代、継手材料代12% 別途加算							

割 増 単 価 表

7030 合成樹脂管基床・裏込材			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
局林1-1-13	内径700 溝型 基床材購入・裏込現地材	宮崎	64	高鍋31	545	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6126	基礎砕石工	30cm以下 0.80BH	10.20	m2	1,165	11,883	
3705	クラッシャーラン(再生)	40mm以下	3.20	m3	4,500	14,400	割増率20%
4453	タンパ締固め	埋戻工	12.30	m3	1,336	16,433	
計		週休:4週8休以上				42,716	
		単 価		1.0 m当り		4,272	
		単価の内労務費の金額				2,627	
		単価の内形成材料の金額				1,440	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7031 合成樹脂管		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 内径700	メインブロック		サブブロック		作成単位 13 m	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7029	合成樹脂管据付	内径700	13.00	m	26,935	350,155	
7030	合成樹脂管基床・裏込材	内径700 溝型 基床材購入・裏込現地材	9.70	m	4,272	41,438	
計		週休:4週8休以上				391,593	
		単 価		1.0 m当り		30,123	
		単価の内労務費の金額				2,462	
		単価の内形成材料の金額				24,574	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7033 溝渠保護柵(鋼製)		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
局林1-1-10	H=1.2m 2.1×1.5×1.5	宮崎	64	高鍋31	545	1箇所	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2739	保護柵(鋼製)	H=1.2m 2.1*1.5*1.5	1.00	組	182,600	182,600	
2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.40	人	18,270	7,308	
計		週休:4週8休以上				189,908	
		単 価			1.0 箇所当り	189,908	
		単価の内労務費の金額				7,308	
		単価の内形成材料の金額				182,600	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7034 鉄筋コンクリート横断溝300型 撤去			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造)		メインブロック		サブブロック		作成単位
			宮崎	64	高鍋31	545	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 24	土木一般世話役	令和5年3月労賃	0.10	人	27,405	2,741	
* 1	特殊作業員	令和5年3月労賃	0.10	人	24,675	2,468	
* 2	普通作業員	令和5年3月労賃	0.40	人	18,270	7,308	
3011	トラッククレーン賃料	4.9 t吊(ラチェスジブ型・油圧伸縮ジブ型)	0.10	日	37,440	3,744	
1000	諸 雑 費	対象金額に対する割合	2.00	%	12,517	250	
計		週休:4週8休以上				16,511	
		単 価			1.0 m当り	1,651	
		単価の内労務費の金額				1,252	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要] 単独施工 敷設の半分							

割 増 単 価 表

7035 コルゲートフリューム 撤去			西都児湯森林管理署 本署				
コードNo	(構造) 400×400	メインブロック		サブブロック		作成単位 1 m	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8008	コルゲートフリューム	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m	1,274	1,274	
計		週休:4週8休以上				1,274	
		単 価		1.0 m当り		1,274	
		単価の内労務費の金額				1,126	
		単価の内形成材料の金額				45	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7036 産廃運搬費 18500m		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) ダンプトラック10t車	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		宮崎	64	高鍋31	545	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4092	ダンプトラック(普通)運転経費	10t積(0%)タイヤ普通	1/2.08	時間	9,840	4,731	
計		週休:4週8休以上				4,731	
		単 価			1.0 m3当り	4,731	
		単価の内労務費の金額				1,811	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7037 産廃処理費		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) コンクリート殻 有筋	メインブロック		サブブロック		作成単位 1 m3	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3706	産廃処理費	コン殻 有筋	1.00	m3	3,600	3,600	
計		週休:4週8休以上				3,600	
		単 価			1.0 m3当り	3,600	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				3,600	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7038 産廃処理費		西都児湯森林管理署 本署					
コードNo	(構造) コンクリート殻 無筋	メインブロック		サブブロック		作成単位 1 m3	
		宮崎	64	高鍋31	545		
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3707	産廃処理費	コン殻 無筋	1.00	m3	3,300	3,300	
計		週休:4週8休以上				3,300	
		単 価			1.0 m3当り	3,300	
		単価の内労務費の金額				0	
		単価の内形成材料の金額				3,300	
[摘要]							

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コンクリート	m3	28,111.00	41,070.00	8001	施工パ-137-58	
条件区分						
構造物種別	小型構造物					
打設工法	人力打設					
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)					
設計日打設量	-					
養生工の種類	一般養生					
圧送管延長距離区分	-					
現場内小運搬の有無	無し					
打設高さ、水平打設距離	-					
機労材						
		代表規格		構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	0.00	
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				44.55		
R1	普通作業員			25.54	21,600	17,400
R2	特殊作業員			8.75	24,700	23,500
R3	土木一般世話役			7.99	25,500	26,100
R4	-			-		
Z(材料)				55.45		
Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%:高鍋31 18-8-40BB 小型車割増			55.45	15,150	28,700
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 28,111.00 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0} + \left(\frac{25.54}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{8.75}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{7.99}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{44.55}{25.54 + 8.75 + 7.99 + 0} \right. \\
 &+ \left(\frac{55.45}{100} \times \frac{28,700}{15,150} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{55.45}{55.45} \\
 &+ \left. \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0.00}{100} + \frac{44.55}{100} + \frac{55.45}{0.00} \right\}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 41,070.00

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
コンクリート	m3	28,968.00	42,950.00	8002	施工パ-137-52	
条件区分						
構造物種別	小型構造物					
打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設					
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)					
設計日打設量	-					
養生工の種類	一般養生					
圧送管延長距離区分	-					
現場内小運搬の有無	-					
打設高さ、水平打設距離	-					
機労材						
		代表規格		構成比	基準単価	宮崎
K(機械)			*印:賃料	4.43		
	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	*	4.18	9,848	11,538
	K2	-		-		
	K3	-		-		
R(労務)				39.79		
	R1	普通作業員		12.91	21,600	17,400
	R2	特殊作業員		11.03	24,700	23,500
	R3	運転手(特殊)		6.76	24,600	24,200
	R4	土木一般世話役		6.39	25,500	26,100
Z(材料)				55.78		
	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% 西都:18-8-40BB 小型車割増		53.83	15,150	28,700
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		1.84	115	143
	Z3	-		-		
	Z4	-		-		
S(市場単価)				-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 28,968.00 \times \left\{ \left(\frac{4.18}{100} \times \frac{12,000}{9,848} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{4.43}{4.18 + -- + --} \right. \\
 &+ \left(\frac{12.91}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{11.03}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{6.76}{100} \times \frac{25,410}{24,600} + \frac{6.39}{100} \times \frac{27,405}{25,500} \right) \times \frac{39.79}{12.91 + 11.03 + 6.76 + 6.39} \\
 &+ \left(\frac{53.83}{100} \times \frac{28,700}{15,150} + \frac{1.84}{100} \times \frac{143}{115} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{55.78}{53.83 + 1.84 + -- + --} \\
 &\left. + \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{4.43}{100} + \frac{39.79}{100} + \frac{55.78}{100} + \frac{0.00}{100} \right\}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 42,950.00

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
型枠	m2	7,775.20	7,355.00	8003	施工パ-139-2	
条件区分						
型枠の種類	一般型枠					
構造物の種類	小型構造物					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)	*印:賃料			0.00		
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				100.00		
R1	型わく工			45.16	26,300	24,600
R2	普通作業員			30.69	21,600	17,400
R3	土木一般世話役			11.11	25,500	26,100
R4	-			-		
Z(材料)				0.00		
Z1	-			-		
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)				-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 7,775.20 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0} + \left(\frac{45.16}{100} \times \frac{25,830}{26,300} + \frac{30.69}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{11.11}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{100.00}{0.00} \right. \\
 &+ \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0} \\
 &+ \left. \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0.00}{100} - \frac{0.00}{100} - \frac{0.00}{0.00} \right\}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 7,355.00

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称		積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
型枠		m2	8,607.20	8,181.00	8004	施工パ-139-1
条件区分						
型枠の種類	一般型枠					
構造物の種類	鉄筋・無筋構造物					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)	*印:賃料			0.00		
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				100.00		
R1	型わく工			47.45	26,300	24,600
R2	普通作業員			24.97	21,600	17,400
R3	土木一般世話役			8.89	25,500	26,100
R4	-			-		
Z(材料)				0.00		
Z1	-			-		
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)				-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 8,607.20 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0} + \left(\frac{47.45}{100} \times \frac{25,830}{26,300} + \frac{24.97}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{8.89}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{100.00}{47.45 + 24.97 + 8.89 + 0} + \left(\frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{0.00}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0.00}{100} \times \frac{0.00}{0.00} \right\} \\
 \text{積算単価} &= 8,181.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
基面整正	m2	430.00	363.80	8005	施工パ-017-1	
条件区分						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
-						
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	0.00	
K1	-			-		
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				100.00		
R1	普通作業員			100.00	21,600	17,400
R2	-			-		
R3	-			-		
R4	-			-		
Z(材料)				0.00		
Z1	-			-		
Z2	-			-		
Z3	-			-		
Z4	-			-		
S(市場単価)				-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 430.00 \times \left\{ \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 0.00 + \left(\frac{100.00}{100} \times 21.600 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times \frac{100.00}{100.00 + 0.00} + \left(\frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 + \frac{0}{100} \times 0 \right) \times 0.00 \right\} \\
 \text{積算単価} &= 363.80
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.		
コンクリート	m3	28,266.00	40,420.00	8006	施工パ-137-23		
条件区分							
構造物種別	無筋・鉄筋構造物						
打設工法	バックホウ(クレーン機能付)打設						
コンクリート規格	24-12-25(20)(高炉)						
設計日打設量	-						
養生工の種類	一般養生						
圧送管延長距離区分	-						
現場内小運搬の有無	-						
打設高さ、水平打設距離	-						
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎	
K(機械)				*印:賃料	4.53		
	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	*	4.28	9,848	11,538	
	K2	-		-			
	K3	-		-			
R(労務)				37.78			
	R1	特殊作業員		11.31	24,700	23,500	
	R2	普通作業員		10.72	21,600	17,400	
	R3	運転手(特殊)		6.93	24,600	24,200	
	R4	土木一般世話役		6.55	25,500	26,100	
Z(材料)				57.69			
	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55% 高鍋31 18-8-40BB地区割増		55.69	15,150	26,700	
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油		1.89	115	143	
	Z3	-		-			
	Z4	-		-			
S(市場単価)				-			

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 28,266.00 \times \left\{ \left(\frac{4.28}{100} \times \frac{12,000}{9,848} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{4.53}{4.28 + -- + --} \right. \\
 &+ \left(\frac{11.31}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{10.72}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{6.93}{100} \times \frac{25,410}{24,600} + \frac{6.55}{100} \times \frac{27,405}{25,500} \right) \times \frac{37.78}{11.31 + 10.72 + 6.93 + 6.55} \\
 &+ \left(\frac{55.69}{100} \times \frac{26,700}{15,150} + \frac{1.89}{100} \times \frac{143}{115} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{57.69}{55.69 + 1.89 + -- + --} \\
 &\left. + \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{--}{100} \times \frac{4.53}{100} + \frac{--}{100} \times \frac{37.78}{100} + \frac{--}{100} \times \frac{57.69}{0.00} \right\}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 40,420.00

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
ふとんかご	m	12,755.00	12,720.00	8007	施工パ-119-2	
条件区分						
作業区分	設置					
ふとんかご種別	スロープ式					
ふとんかご規格	高さ50cm×幅120cm					
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎
K(機械)				*印:賃料	6.00	
K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)				6.00	18,400
K2	-			-		
K3	-			-		
R(労務)				32.51		
R1	普通作業員			16.85	21,600	17,400
R2	特殊作業員			5.59	24,700	23,500
R3	土木一般世話役			5.22	25,500	26,100
R4	運転手(特殊)			4.85	24,600	24,200
Z(材料)				61.49		
Z1	詰石 割栗石 150~200mm 西都			27.40	6,325	5,550
Z2	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径4.0mm(#8)網目13cm 50cm×120cm			26.34	3,360	3,920
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			2.32	115	143
Z4	-			-		
S(市場単価)	-			-		

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 12,755.00 \times \left\{ \left(\frac{6.00}{100} \times \frac{18,400}{18,400} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{6.00}{6.00} + \left(\frac{16.85}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{5.59}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{5.22}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{4.85}{100} \times \frac{25,410}{24,600} \right) \times \frac{32.51}{16.85 + 5.59 + 5.22 + 4.85} \right. \\
 &+ \left(\frac{27.40}{100} \times \frac{5,550}{6,325} + \frac{26.34}{100} \times \frac{3,920}{3,360} + \frac{2.32}{100} \times \frac{143}{115} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{61.49}{27.40 + 26.34 + 2.32 + 0} \\
 &\left. + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{32.51}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{61.49}{100} \times \frac{0.00}{0.00} \right\}
 \end{aligned}$$

積算単価 = 12,720.00

週休:4週8休以上

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称	積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.		
コルゲートフリューム	m	1,292.30	1,274.00	8008	施工パ-089-3		
条件区分							
作業区分	撤去						
規格	350×350mm以上550×550mm以下						
機労材	代表規格			構成比	基準単価	宮崎	
K(機械)				*印:賃料	6.96		
	K1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		*	6.96	7,053	7,703
	K2	-		-			
	K3	-		-			
R(労務)					90.26		
	R1	普通作業員			33.31	21,600	17,400
	R2	土木一般世話役			19.11	25,500	26,100
	R3	特殊作業員			19.03	24,700	23,500
R4	運転手(特殊)			18.72	24,600	24,200	
Z(材料)					2.78		
	Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			2.78	115	143
	Z2	-		-			
	Z3	-		-			
Z4	-		-				
S(市場単価)	-			-			

計算式

$$\begin{aligned}
 \text{積算単価} &= 1,292.30 \times \left\{ \left(\frac{6.96}{100} \times \frac{8,011}{7,053} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{25,500} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{24,700} \right) \times \frac{6.96}{6.96} + \left(\frac{33.31}{100} \times \frac{18,270}{21,600} + \frac{19.11}{100} \times \frac{27,405}{25,500} + \frac{19.03}{100} \times \frac{24,675}{24,700} + \frac{18.72}{100} \times \frac{25,410}{24,600} \right) \times \frac{90.26}{33.31 + 19.11 + 19.03 + 18.72} \right. \\
 &+ \left(\frac{2.78}{100} \times \frac{143}{115} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{2.78}{2.78} + \left. \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{6.96}{90.26} + \frac{0}{100} \times \frac{2.78}{0.00} \right\} \\
 \text{積算単価} &= 1,274.00
 \end{aligned}$$

週休:4週8休以上